



HAMAGINSOUKEN NEWS



2007年3月29日

わずかに悪化した神奈川県内中堅・中小企業の景況感

企業経営予測調査2007年3月調査結果

要 旨

神奈川県内中堅・中小企業の2007年3月末時点における業況判断D.I.（全産業ベース、業況が「良い」-「悪い」、回答社数構成比、%）は 8 と前回調査を1ポイント下回った。

今回の業況判断D.I.値を製造業、非製造業の別にみると、製造業は電気機械で景況感が悪化した反面で、一般機械や鉄鋼・非鉄、金属製品などでは改善したことから前回調査比6ポイント上昇の0となった。一方の非製造業は小売業が改善したものの、卸売業やサービス、運輸・倉庫で悪化したことなどから前回調査の 8 から 14へと6ポイント低下した。

3か月先（6月末）の見通しについては、非製造業が横ばいとなる一方で、製造業は悪化することから、全産業ベースの業況判断D.I.値は 13と3月実績に比べて5ポイントの低下が見込まれている。

県内企業の景況感は昨年末に急回復したものの、足下はわずかに低下し、先行きもさらに慎重にみる企業が増えている。この背景としては、米国景気の先行き不安や円高懸念、連鎖株安などがあげられる。ただ、各社の収益見通しは先行きの改善を見込んでおり、こうしたリスク要因がさらに深刻化しなければ県内景気は緩やかな回復軌道を維持すると考えられる。

【本件についての問い合わせ先】
株浜銀総合研究所 調査部 新瀧
電話 045-225-2375(ダイヤル)

E-mail: shintaki@yokohama-ri.co.jp

企業経営予測調査

2007年3月実施

四半期別（第143回）結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした526社
（うち製造業209社、非製造業317社）

回収率54.9%（回答企業289社うち製造業126社、非製造業163社）

業況判断D.I.

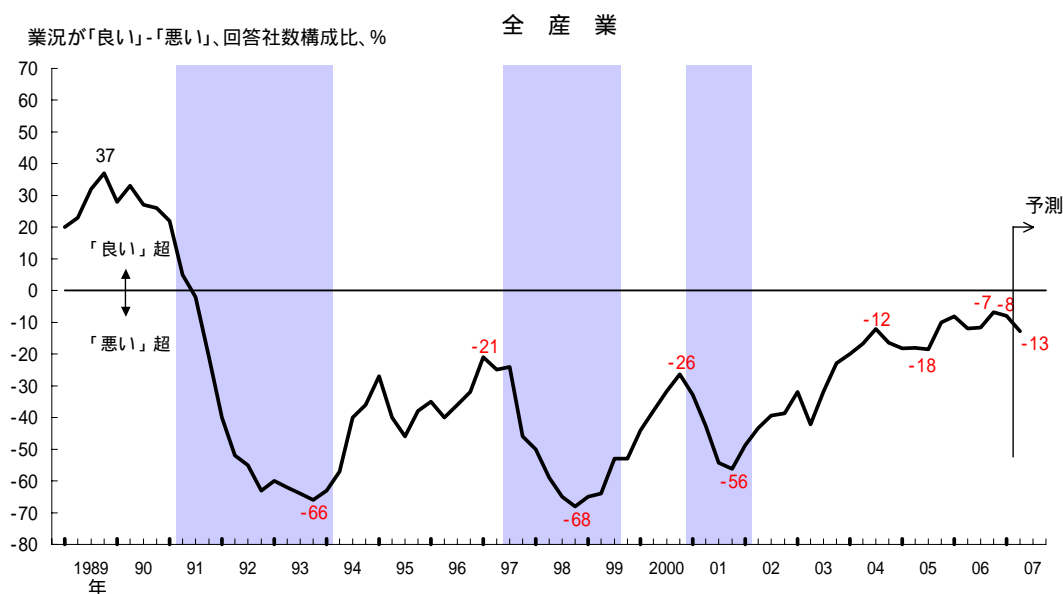
（2007年3月末）

2007年3月末時点の神奈川県内中堅・中小企業の業況判断D.I.（全産業ベース、業況が「良い」-「悪い」、回答社数構成比、%）は8となり、前回2006年12月調査に比べて1ポイント低下した。

製造業、非製造業の別にみると、製造業では前回12月調査比6ポイント上昇の0となった。業種別には、売上高の減少や販売価格の低下を反映して電気機械でD.I.値が低下した。反面で、受注の拡大が続く一般機械や鉄鋼・非鉄、金属製品などで景況感が改善した。

一方、非製造業は前回調査の8から14へと6ポイント低下した。業種別には衣服、身のまわり品で販売好調な企業がみられたことなどから小売のD.I.値が大きく上昇した。反面で、採算面が悪化した建設や、暖冬を背景とした灯油の販売減などがみられた卸売でD.I.値が大きく低下している。

業況判断D.I.の推移



（注1）各年の調査月は3、6、9、12月である。

（注2）シャドーは景気後退期を示す。

(3 か月先の見通し)

2007年6月末時点の業況判断D.I.は、全産業で 13と3月末の 8に比べて5ポイント低下する見通しとなっている。

製造業では、輸送機械と化学・石油で「悪化」超幅が拡大し、電気機械も「悪化」超に転じるなどすべての業種でD.I.値の低下が見込まれていることから、全体では今回調査の0から 12へと景況感が悪化する見通しとなっている。

一方、非製造業では建設やサービスでD.I.値の低下が見込まれているものの、卸売や小売、運輸・倉庫で改善予想となっていることから、全体のD.I.値は 14と3月末比横ばいとなる見通しである。

足下の業況判断D.I.と3か月先の見通し

(業況判断D.I.:業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%)

	2006年 9月末	2006年 12月末	2007年 3月末	2007年 6月末 (予想)
全 産 業	12	7	8 (5)	13
製 造 業	4	6	0 (1)	12
電気機械	7	7	4 (12)	12
輸送機械	18	18	18 (18)	36
一般機械	0	12	17 (15)	8
化学・石油	44	53	43 (35)	50
鉄鋼・非鉄	50	33	70 (33)	30
金属製品	10	0	17 (10)	8
非製造業	18	8	14 (8)	14
建設	31	14	27 (9)	30
運輸・倉庫	4	0	4 (6)	0
卸 売	30	3	33 (10)	19
小 売	35	29	10 (24)	7
サ ー ビ ス	4	2	6 (4)	12

(注) カッコ内は前回2006年12月調査時点における2007年3月末予想である。

以 上